

ふくし

●発行●
 飯島町社会福祉協議会
 飯島町飯島2551番地
 TEL0265(86)5511
 FAX0265(86)5657
 HP <http://www.iisyakyo.or.jp>

●印刷●
 龍共印刷株式会社



令和7年度 ボランティア交流研修会

ミュージカルサークル煌(きらめき)のダンス&トーク

おにぎらず作り

食後の運動

3月20日(金)に飯島成人大学センターでボランティア交流会を開催しました。「食を通じて楽しく交流しよう」をテーマに15名の参加がありました。最高齢95歳で参加された方から、「安心コールなどのボランティア活動は生きがいを感じる活動のひとつです。食事をきっちりとり、短歌や新聞の斜面の書きとりを毎日しています。元気なうちは、自分でできるボランティアを続けていきたい。」と話していただき、皆さん驚かれたとともに、自分たちもいつまでも元気で頑張ろうと口々に話されていました。昼食はおにぎらずを作りました。「どこにのせるの?どうやってたむの?」とワイワイ、ガヤガヤしながら楽しく美味しいおにぎりが出来ました。「これは簡単で楽しいね。またみんなで作りたいね。」と話していました。食後、腹ごなしに演歌体操の皆さんに先生になっていただき、皆で歌って踊って体を動かしました。

第2部は、伊那養護学校卒業生のミュージカルサークル煌(きらめき)のダンス&トークのお芝居を鑑賞、「皆さんの表情がいきいきし、素晴らしかったです。」と感想をいただき、笑顔で帰られました。

それぞれ短い時間でしたが、楽しく充実したひと時でした。

内容

新年度を迎えて	P2	お知らせ	P4
ボランティア情報誌「さくらそう」205号	P3	相談	P4

令和8年度を迎えて

会長 箕浦 税夫

町民の皆様には、社協の諸活動に
対しましてご理解ご支援を賜り感
謝申し上げます。

令和8年度も「ともに生きる福祉
のまちづくり」を目標に掲げて、多
岐に渡る事業を行います。代表的な
事業を紹介します。

お馴染みの「ふれあいいきいきサ
ロン」は、新規立ち上げの支援や、世
話さんの研修会などを行い、世代
を超えた仲間づくり生きがいづくり
の場となるよう積極的な支援を行
います。

認知症見守り支援事業は、昨年度
の検討委員会の結論を得て「いいじ
まのこころ隊」の名称で、発足の運
びとなりました。今後見守り協力を
お願いできる事業所や個人の登録と
認知症で心配な方の登録をしながら、
活動を開始します。

高齢者等終身サポート事業の研
究を進めます。身寄りのない高齢者
等の人生ステージに起きる日常生活
支援、身元保証、人生最後の支援な
どの協力体制を作る必要があります。
そのため、想定される事例など
の検討を行い、行政、各種事業者、法
律専門家、寺院、有識者など幅広い
皆様の意見集約と協力体制を構築

できるよつに研究を進めます。

今、各種の子ども支援が行われて
いますが、社協が考える「子ども庇
援プロジェクト」を計画し、商工会、
企業などの力強い支援をいただき、
子どもたちに食事や食料品などの
プレゼントができる仕組みを作り上
げてまいります。

恒例の「ふれあい広場」は、十月
十八日に開催します。実行委員会に
若人の力を借りて、楽しく交流とふ
れあいが広がる広場となるように
準備を進めてまいります。

これらの事業のほか、支援が必要
となる人に、必要な時に必要な支援
と情報が届けられるように努めてま
いりますが、これらの事業は、皆様
方からの社協会費、特別会費、賛助
会費、一般寄付金それに共同募金配
分金などにより運営されています。
今年もご協力をお願いいたします。

介護保険事業、障がい者福祉事業
は、福祉専門職として技術を高め、
ご利用者一人一人に寄り添い要望
に応えられるよつに努めます。

皆様には、引き続き社会福祉協議
会事業への参加と力強いご支援を
賜りますよつお願いいたします。

令和8年度活動方針

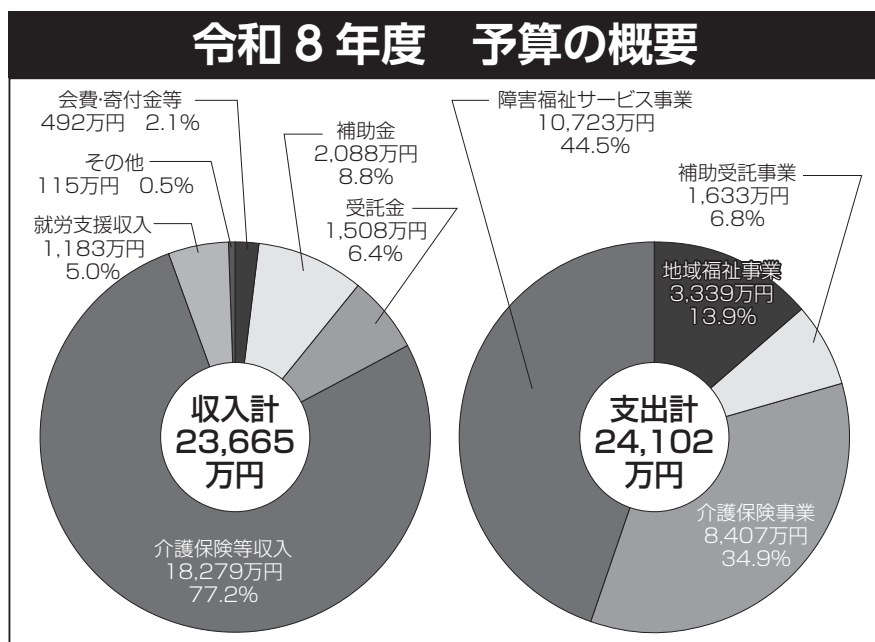
社会福祉協議会は、住み慣れた地域で誰も
が居場所と役割を持ち、多様な個性を認め
合い、お互いさまが当たり前となる地域共生
社会を目指しています。

昨年度は、「気にかける地域づくり」につ
いて、ボランティアや各種団体・関係機関等、
地域の皆様と一緒に学び、居場所と役割の大
切さについて共通理解の形成を図りました。

この認識をもとに、地域のつながりを広げて
いきます。

介護保険・障害福祉サービス事業において
も、地域での生活や参加を意識し、自立支援
や意思決定につながる関わり、サービス提供
を展開していきます。

なお、すべての事業においてICT(情報通
信技術)の整備と研究を進めてきました。本
年度は、システムの変更や生成AI技術の活
用を進めることで、さらなる業務の効率化と
サービスの質の向上につなげていきます。



職員異動紹介

こまくさ園 小林 靖予

通所介護事業係 小松 恵

新規職員

地域福祉係 金井 陽愛

お世話になりました

倉澤 孝 (通所介護事業係)

堀内比呂子 (通所介護事業係)

今井 靖弘 (通所介護事業係)

中村やよい (こまくさ園)



令和8年度
事業計画は
←こちらから



令和8年度
収支予算書は
←こちらから



「春休みボランティア体験教室」開催

春休みの3月27日(金)石楠花苑において、「声の輪」グループのCD録音の体験教室を行い、飯島小学校の児童4名が参加しました。始めに声の輪の皆さんから、視覚の障がいをお持ちの皆さんに『声の広報』として、自分たちで聞きやすく、読みやすいよう原稿を書き、それをCDに録音し、おひとり

おひとりに直接手渡しをするという活動を長年続けているというお話を聞きました。その後実際に発声練習や原稿の読み方を教わり、録音しました。

●参加された皆さんの感想です。

「初めて声の輪のボランティア活動をしてみて、とてもすてきな活動だと思いました。」

「町のために活動している声の輪の皆さんがかっこいいと思ったし、みんな優しく楽しかったです。」

高齢者つどいの広場開催

3月7日(土)に高齢者クラブいちいの会、いきいきサロンの皆さん30名が参加。「わが会の自慢大会」をテーマに行いました。それぞれ自分たちの会に取り入れてみようかと、色々な事を聞いていました。

お茶会は、食改の皆さんに牛乳かんと大きなどら焼きを作っていただき、美味しくいただきました。



折り紙を通して、心と身体をリフレッシュ

第4回やらまいか講座を3月23日(月)に「折り紙を通して、心と身体をリフレッシュしませんか」というテーマで行いました。

駒ヶ根市で活動しているボランティア団体「おり姫倶楽部」の皆さんを講師に、折り紙の魅力と効果についてのお話しをお聞きした後、季節を感じられる「チューリップの花束」を折り紙で作りました。折り紙を折りながら、会話の花が咲き、作品を仕上げることで笑顔の花が咲きました。折り紙の効果の一つと言われている「作り上げる喜び」を皆さんで体験することができました。



いきいきサロン「あさがおの会」

荒田自治会いきいきサロン「あさがおの会」では、定期的で開催して施設で使う古布を指定のサイズに切ってくれています。大きさもそろっており、大変丁寧な仕事をしてくれています。

個人団体問わず切ってくれた古布は、町内の福祉施設にお配りすると、「大助かりだよ」と喜ばれています。是非活動に興味ある個人や団体の皆さんは、飯島町社協までお問い合わせください。



こすも清流の会のご案内

★対象者★ 65歳以上の高齢者
(介護保険の認定を受けている方でも、利用することはできません。)

★コースのご案内★ 月2回 金曜日
・祝日等で日程が変わる場合もあります。

★時間・料金・持ち物★

時間：午前9時30分～午後2時30分

料金：1回 1,000円(昼食代込み)

持ち物：湯呑み

内容は
マレットゴルフや
囲碁ボール他

*制作にかかる材料費は
別途ご負担いただく場合
もあります。

★ご自宅近くまでの送迎も対応いたします★

季節の会へのお誘い

町内の65歳以上の一人暮らしの方、高齢者世帯の方、年齢を問わず障がいのある方等、外出の機会が限られている方を対象に、地域住民同士の親睦を深めることを目的として年間4回

ほど季節に合わせて外出をします。お誘い合わせしてお出掛け下さい。



ボランティア情報
さくららそらう

第205号

第12回 社会福祉大会を開催しました



1月25日（日）『だれもが地域で自立した生活ができる社会の実現！』をテーマに社会福祉大会が開催されました。

表彰状・感謝状の贈呈式を行い、続いて行われた、(財)日本レクリエーション協会・公認指導者インストラクター宮下泰広さんによる「認知症予防 寄席」～生涯笑害無し(いっしょうがいしょうがいなし)～講演会では、認知症予防を学ぶ大変良い機会でした。

また、飯島中学校3年生による「これまでの福祉ボランティア活動報告」のビデオ発表では、一年間の学生ボランティア活動を振り返ることができました。

最後に『大会宣言』が確認されました。



令和8年 災害義援・救援金受付中

令和7年度に発生した地震や大雨、火災による被害を受けた方々を支援するための義援金・救援金を受付けています。

- ・令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金(大分県)
- ・令和7年8月6日からの大雨水害義援金(熊本県)
- ・令和6年9月能登半島大雨災害義援金(石川県)
- ・令和6年能登半島地震災害義援金
- ・イラン及び周辺国人道危機救援金
- ・ウクライナ人道危機救援金
- ・バングラデシュ南部避難民救援金
- ・中東人道危機救援金

◆募金箱設置場所◆ 飯島町社協、飯島町役場、飯島町文化館
道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里
引き続き皆様の温かいご支援をお願いいたします。

令和7年度皆さまから寄せられた義援金は **79,768円** でした。

お寄せいただきました義援金は、日本赤十字社を通じて全額送金され、被災地の方々の生活支援に役立てられます。

善意をありがとうございます

● 寄付金	片桐 明 様	金十万円
	千村 千江子 様	金五万円
● 一円玉募金	上ノ原自治会いちいの会 様	金一万四千三十七円
	南町自治会いちいの会 様	金五千二百二十七円
	山久自治会いちいの会 様	金二千三百二十円
	山桜の会 様	金六千九百三十三円
● 寄贈品	「小さな親切」運動上伊那支部 車椅子 三台	

※厚意深く感謝し、福祉事業に活用させていただきます。

相談

〈司法書士無料法律相談〉

・令和8年6月17日(水)

場所…地域福祉センター石楠花苑

時間…午後1時～午後4時

※予約制になります。

〈ひきこもり相談〉

・毎月第2水曜日

場所…地域福祉センター石楠花苑

時間…①午後2時から ②午後3時半から

※予約制ですが、ご都合により希望される時間にも対応できます。また、電話での相談も可能です。



飯島町社協フードバンク 令和8年度 奇数月の第4金曜日 食糧支援の日

5月22日(金)・7月24日(金)

9月25日(金)・11月27日(金)

令和9年1月22日(金)・3月26日(金)

場 所：飯島町地域福祉センター石楠花苑の玄関

時 間：午前9時～午後6時

様々な事情で日常生活にお困りの方に、
食糧を無料で配布いたします

【お問い合わせ】 社会福祉法人 飯島町社会福祉協議会
〒399-3702 飯島町飯島2551番地
☎0265-86-5511 担当：地域福祉係